

2003年出土の木簡

(1)は板目材で、上端は平坦に切断されている。日付は明瞭に残っているが、その他の文字ははつきりしない。日付の上は「式年」の可能性がある。形状から荷札木簡と考えられる。表面の「六」は数量を示すものか。

(2)は柾目材で、上端は平坦に切断されている。形状から荷札木簡と考えられる。

(坂口圭太郎)



(赤外線デジタル写真)

『埋文写真研究』一五号

埋蔵文化財写真技術研究会編

卷頭言

白黒フィルムの特性曲線を理解する

ガラス乾板の保存

和田 晴吾
井本 昭

写真以前の映像メディアの歴史を見る
デジタル製版での印刷品質

川瀬 敏雄
金井 杜男

スタジオ用ストロボの知識

宮内 康弘
玉内 公一

在庫状況のお知らせ

頒価 一~五号 品切れ 六~八号 三五〇〇円

九号 三〇〇〇円 一〇~一五号 三五〇〇円

送料 一冊~四冊まで 五〇〇円

五冊~一〇冊まで 一〇〇〇円 一一冊以上 無料

ご注文は、当研究会まで直接お申し込みください。
ご送金は、郵便振替でお願い致します。

宛先 〒六三〇一八五七七 奈良市二条町二丁目九番一号

奈良文化財研究所気付 埋蔵文化財写真技術研究会

電話 〇七四二一三〇一六八三八

郵便振替 口座番号 〇一〇五〇一九一九九三〇

埋蔵文化財写真技術研究会宛